

1. 「アジア・国際戦略」から「国際県ながさきの基本方針」へ

- 前総合計画（チェンジ&チャレンジ2025）の政策横断プロジェクト「アジア・国際戦略」が終期を迎えた後も、さらに部局間連携を深め、各分野の国際施策を推進していく必要がある
- 国際情勢の変化や市場ニーズの多様化に臨機応変に対応するために、関係部局が共通のあるべき姿を持って連携して取り組むための基本方針を策定する

2. 基本的考え方

本県の強みである海外との歴史的な交流の積み重ねと、アジアへの最前線に位置する地理的優位性を活かして、海外の活力を積極的に取り込むことにより、本県が「国際県として認知され、世界各地から外国人観光客や留学生が訪れ、まちが活気にあふれている」状態を実現する

「どのような国際県を実現するのか」
のイメージを明確化

めざす「国際県」の姿

分野別に、あるべき姿を定義

インバウンド観光の拡大

県産品の輸出拡大

外国人材受入促進

県内企業等の海外展開支援

国際交流・平和発信

グローバル人材育成

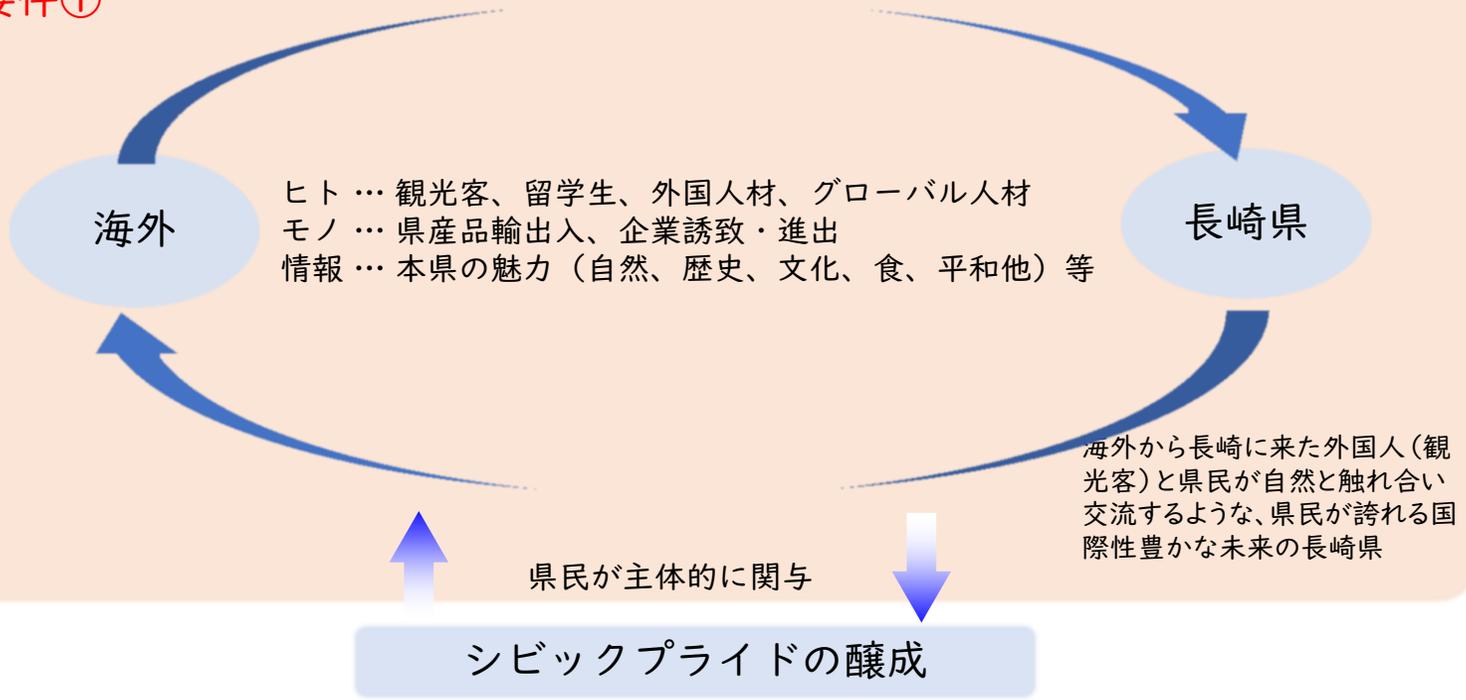
めざす「国際県」の姿や分野ごとのあるべき姿を共有した上で、各分野が戦略を持って主体的に取り組むとともに、部局連携で効果的・効率的に国際関係施策を展開する

めざす「国際県」の姿

めざす姿

「国際県」として世界各地から外国人観光客や留学生が訪れ、県民との触れ合いを通じて活発な交流が行われている風景が日常となっている。また、世界に選ばれることで、海外の活力を取り込みながら、経済的な発展へとつながり、まちが活気にあふれている。

「国際県」の要件① = 海外とヒト・モノ・情報の活発な出入りが県内で広く行われている



「国際県」の要件② = 県民一人ひとりが「国際県」の担い手であるとの誇りを持って行動している

【国際県実現に必要な取組の視点】

世界に選ばれる

- 海外における本県のプレゼンス向上
- ・友好都市をはじめとした地域間交流の促進
 - ・海外プロモーションによる本県の新たなブランド認知獲得
 - ・核兵器廃絶の取組をはじめとした国際貢献の推進など

海外の活力を取り込み発展する

- 交流人口の拡大と経済交流の促進
- ・外国人観光客、クルーズ客船、国際航空路線の誘致と、観光消費額増加につながる観光まちづくりの推進
 - ・県産品の輸出拡大と生産者の所得向上
 - ・外国人材の受入拡大など

世界とつながる

- 多様な交流の推進とシビックプライドの醸成
- ・青少年交流をはじめ、文化・スポーツなど幅広い分野での国際交流の推進
 - ・国際県の住民としての誇りや、地域への愛着の醸成
 - ・次代を担うグローバル人材の育成など

「国際県」実現のための各分野におけるめざす姿・主な数値目標

分野	めざす姿
インバウンド・国際航空路線・クルーズ	長崎県の観光地としての魅力が外国人観光客に認知され、世界各地から外国人観光客や留学生が訪れ、まちが活気にあふれている。また、本県を訪れた外国人観光客が県民と自然と触れ合い交流する、国際性豊かな県となっている。
県産品輸出	県産品の魅力が海外市場に浸透し、新たな需要が創出され、県内生産者等の所得向上が図られている。また、外国人に本県ならではの食の魅力が発信・提供され、インバウンド誘客に繋がっている。
外国人材	外国人材の方々が、産業を支える担い手として、いきいきと働き、本県が外国人に選ばれる県となっている。
国際交流	歴史的・文化的なつながりを活かした幅広い交流が活発に行われ、長崎県のプレゼンスが向上することにより、外国人を含む地域住民に地域への愛着や誇りが生まれている。
平和発信	「長崎を最後の被爆地に」という県民の思いを発信し、国際社会において核兵器廃絶を求める意識が醸成されている。
企業の海外進出	新たに海外展開に挑む県内中小企業等が増加し、海外販路を開拓した企業が事業拡大することで、地域産業を支える企業等の成長が促進され、外需獲得に繋がっている。
グローバル人材	県内の学校教育において外国語教育が充実し、国際的視野をもって県内外で活躍できる国際人材の育成が図られている。

主な数値目標	インバウンド	県産品輸出	外国人材
指標	外国人延べ宿泊者数	県産品の輸出額	外国人労働者数
最終目標 (R12)	135万人	125.36億円	19,100人